

米内浄水場

○緩速ろ過とは
外で時間をかけてゆっくりろ過する

- 【方法】
- ① 川から水を取り込み沈殿池にためる
 - ② ろ過砂を入れ砂の表面の微生物で水中のゴミを酸化分解する



↑ 緩速沈殿池 ↑ ろ過砂

○急速ろ過とは
室内で短時間でろ過する

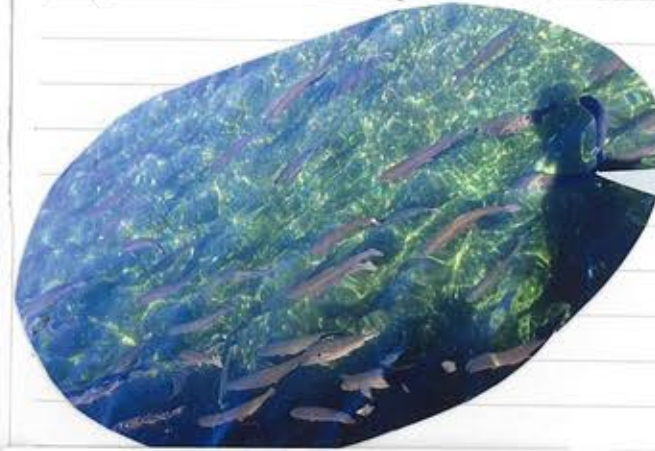
- 【方法】
- ① 川から水を取り込み、不純物がしずみやすい薬を入れる
 - ② 前の段階で取りきれなかったゴミを厚い砂をつかろ過する。
 - ③ におい、色を取り除く薬を入れる



↑ ①で使用する池 ↑ ②で使用する池

内水面水産技術センター

この施設では淡水魚の種苗生産や養殖、放流、魚病について研究を行っています。
増殖された魚は販売もされています。
また、岩手山々麓の豊富な湧水に恵まれており、毎分40klもの清い水が湧き出ています。(日本名水百選にも選ばれています!!)



魚にエサやり
もしました!!

○四十四田ダム



四十四田ダムは治水と発電を目的として昭和43年に北上川本流に建設された多目的ダムである。松尾鉦山から流れてくる強酸性の水質の改善のために使われている「死の川」と呼ばれる原因となった中和剤により発生する赤い浮遊物の沈殿も担っている。また、ダムに併設されている四十四田発電所はダムの貯留水を利用して、最大15100kWを発電している。



実際にダムの中に入ってきました!



「北上川学習交流館あいぽと」とは

- 【目的】北上川の防災のため、特に決壊の危険が見られるときはいち早く市民に伝えるために川のすぐ近くに作られている。
- 【活動】北上川の種々の情報を発信し、学習や流域内の交流を図るための総合情報拠点であると共に、災害時における防災活動拠点となっている。

- 総合情報拠点
- ・河川及び災害等の情報発信
 - ・震災、出水時の状況を随時展示している
- 防災活動拠点
- ・災害時は防災センター
 - ・状況把握
 - ・復旧対応

東日本大震災を通してTEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)の集結場所の1つとなった。



人工の遊水地をつかって洪水を調節していくのだ

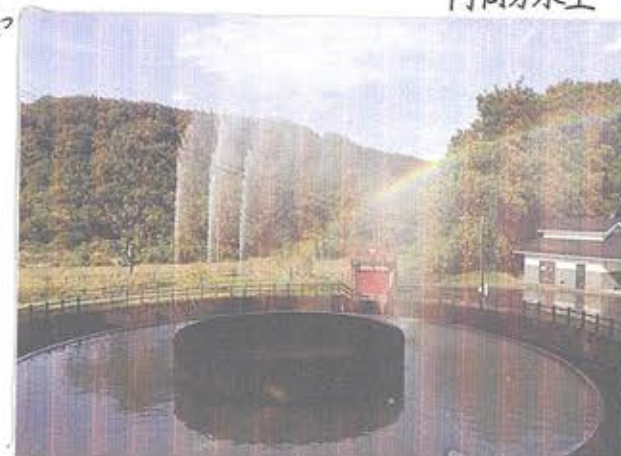
徳水園について

かつて河川が1つしかなく、水を巡る争いが多発していた胆沢平野。そんな状況を変えるために作られたのが円筒分水工です。胆沢川から得た水を、寿庵堰、茂井羅堰の2つの用水に公平に分けるこの施設のおかげで、争いは無くなったと言われています。



水の妖精 アクアくん

円筒分水工



噴水が虹かともなう

【溶岩標本の写真】 撮影年月日：平成27年9月27日(日)



焼け走り溶岩流

岩手火山 標高2038m 成層火山(円錐形)

～焼け走り溶岩流の成り立ち～
1932年(享保44年)山腹噴火[半年間の活動終了]
国指定特別天然記念物

人が踏み踏んでいるので石の表面は白っぽくなっている。

雨月には大きな溶岩の固まりでびっしり埋められ、低い高さ

ここでiphoneを壊した先輩もいたとかい...